

# 令和元年度福知山公立大学への授業参加について

- 開催日 令和2年1月14日(火)
- 会場 福知山公立大学4号館101
- 内容 今回で3回目となる講義では、前半に「認知症について」、「オレンジロードつなげ隊について」、「福知山市の認知症施策について」、後半では、「私(たち)ができる認知症に対する取り組み」についてを、地域協働論を学ぶ受講生70名とつなげ隊員と関係者17名で構成したグループで議論をしました。



◆『認知症について』  
京都市中丹西保健所  
保健室 地域包括支援担当



◆『福知山市における認知症  
施策(ケアパス等)について』  
福知山市高齢者福祉課  
地域包括支援係

◆『講義(講座)内容について』  
福知山公立大学  
地域経営学部 杉岡准教授



◆『オレンジロードつなげ隊について』  
オレンジロードつなげ隊 中村さん



## グループワーク

各グループでは、5つのテーマから1つ選び、『〇〇〇について私(たち)ができること』を前提に認知症に対する取り組みについて議論しました。



### ◆講座を受講された、学生さんからの感想◆

●認知症を扱うのはすごく難しい面が多いと思う。(知識の欠如、認知症患者との接点がない為)。正しい知識を身に付けるのは、私たちができる最低限の取り組みだと思った。認知症に関する施策があるということも、このような形で話を聞かなければ、知らないままというのは怖いと思う。これらのことを知るきっかけが全然ないと思う。

●認知症の種類が他にもいろいろあると聞いて、認知症は思ったよりも複雑な病気だと学ぶことができました。

●もし身近な人が認知症になったときは根気強く付き合っていくことが必要だと思いました。

●認知症について知る機会は今まであまり無かったが、父方祖母が認知症の認定を受けていて介護が必要である以上、本当に人ごとではない問題だなと改めて感じました。

●認知症は病気であって、感情は残っているということが知れただけでも良かった。



### ◆オレンジロードつなげ隊員の感想◆

●認知症という単語は知っていても内容は知らないという状態が多くある事を再認識できました。自分たちが普段関わっている認知症というものの難しさ。そして住み慣れた地域で過ごしていただくうえで、まだまだ課題が残っている現状が見えてきたが、解決するのは難しいものも多くある事がわかるものでした。また、学生と考えていく中で、学生の方だけでなく自分たちにも何ができるのかを再度考える良い機会になった。